

令和8年度 社会科 2年地理 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

< 2 > 地理的分野の目標

- (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

知識・技能	我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。(80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	C	努力を要する状況である。(50%未満)

評定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。(90%以上)
	4	十分満足できる状況である。(80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	2	努力を要する状況である。(50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。(20%未満)

< 5 > 指導上の配慮事項

(知技)思考力・判断力・表現力の育成。→生徒の言語活動を充実させる指導。

(思判表)自主的・自発的な学習の促進。→体験的な学習や問題解決的な学習。 発展的な学習

(態度)学習の見通しを立てたり、振り返ったりする学習。

④個に応じた指導の充実。→ 個別指導 グループ別指導 繰り返し指導 課題学習 補充的な学習

社会科 2 学年 地理的分野 年間指導計画・評価計画

【評価の観点】知識・技能＝知技, 思考・判断・表現＝思判表, 主体的に学習に取り組む態度＝態度

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	1 調査テーマを決めよう 調査テーマは、どのように決めるとよいのだろうか。	・身近な地域に対して日頃から感じている疑問や、身近な地域の地図、景観写真、統計資料などを見て抱いた疑問を整理・分類して、身近な地域を調査するテーマを決めることができる。	・地図や景観写真、統計資料などを活用し、身近な地域に関する疑問を出させ、調べる視点や調査テーマを決める手順を理解させる。(知技) ・身近な地域に関する疑問や調査するテーマを多面的・多角的に考察させる。(思判表)
	2-(1) 調査方法を考えよう -調査方法を考えよう- 調査テーマを追究するためには、どのようなことを、どのように調べればよいのだろうか。	・調査方法と野外調査を組み合わせた計画的な準備を進めることができる。	・調査テーマに対する予想が正しいかどうかを確かめさせ、調査項目や調査方法について理解させる。(知技) ・調査方法に活用できる適切な地図や景観写真、統計資料を収集させる。(知技) ・調査テーマに対する仮説を検証するためには、どのような調査方法があるかを多面的・多角的に考察させる。(思判表)
	2-(2) 調査方法を考えよう -調査するコースを考えよう- 調査テーマを追究するためには、どのようなことを、どのように調べればよいのだろうか。	・野外調査を安全に、効率よく行う方法を考えることができる。	・野外調査を行う際に必要な物や注意すること、及び、調査するルートを考えさせる。(知技) ・調査テーマに関心をもち、調査項目や調査方法を主体的に追究するよう、支援する。(態度)
	3 野外調査を実行しよう 野外観察や聞き取り調査は、どのように行うとよいのだろうか。	・調査ノートを作成し、ルート上の調査や聞き取り調査の結果、景観のスケッチなどを記録することができる。	・仮説を検証するための調査を行っていることを理解させる。(知技) ・調査した結果を適切に記録したり、聞き取り調査を行ったりする方法を理解させる。(知技) ・実際に野外調査を行うことを通して、効率的かつ効果的な調査を行うには、どのようにしたらよいかを、考えさせる。(思判表)
	4-(1) 調査を深めて結果	・調査のテーマや目的、調査方法、調査	・現地で調査したことや、地図・文献

<p>を発表しよう-仮説の検証を行おう-</p> <p>調査を深め、分析するには、どのような方法があるのだろうか。また、調査結果はどのようにまとめ、発表すればよいのだろうか。</p>	<p>結果、結論などについて簡潔に記述することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に分かりやすくまとめ、発表の準備を行うことができる。 	<p>資料などの考察を通して、地域の変容やその背景などをとらえ、地域の特色や課題を理解させる。(知技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を適切に分かりやすくレポートなどにまとめさせ、よりよい調査結果のまとめ方を理解させる。(知技) ・文献資料などを活用して、野外調査で明らかになった地域的特色や課題を多面的・多角的に考察させる。(思判表)
<p>4-(2) 調査を深めて結果を発表しよう-調査結果を発表しよう-</p> <p>調査を深め、分析するには、どのような方法があるのだろうか。また、調査結果はどのようにまとめ、発表すればよいのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査のテーマや目的、調査方法、調査結果、課題などについて簡潔に記述し、視覚的に分かりやすくした上で発表することができる。 ・聞き手になったときは、発表内容をきちんとメモしながら聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を聞き手に分かりやすく発表するには、どのような方法があるのかを考えさせる。(知技) ・発表する場合は聞き手に分かりやすく発表させ、聞き手の場合は発表内容を、メモをしながら聞くよう促す。(知技) ・調査結果を有効にまとめることに興味をもち、主体的によりよいまとめ方・発表の仕方を追究するよう、支援する。(態度)
<p>1 山がちな日本の地形</p> <p>日本の国土には、どのような地形的な特色があるのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島は国土に占める山地の割合が高く、フォッサマグナを境に日本の地形の特色が東西で異なっていることを理解できる。 ・日本列島の地形の特色を、環太平洋造山帯との関わりから考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島は山地の割合が高く、フォッサマグナを境に日本の地形の特色が東西で異なっていることを理解させる。(知技) ・日本列島で地震や火山が多い理由を、環太平洋造山帯との関わりから考察させる。(思判表)
<p>2 川がつくる地形と海岸や海洋の特色</p> <p>日本の平野や海岸、日本を取り巻く海には、どのような特色があるのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本は、周囲を海に囲まれて多様な海岸線が見られることや、日本近海の地形や海流の特色を理解できる ・川がつくるさまざまな地形の特色を理解し、どのような土地利用がなされているのか考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本を取り囲む海岸線の特色と、大陸棚と海溝の違いや暖流と寒流の違いを理解させる。(知技) ・平野や盆地のほか、扇状地や三角州、台地など川がつくる地形の特色を理解させ、どのような土地利用がなされているのか考察させる。(思判表)
<p>3 日本の気候</p> <p>日本各地の気候を比較すると、地域によってどのような違いがあるのだろうか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の気候の特色を世界の気候帯との関わりから理解できる。 ・日本の気候を北と南、太平洋側と日本海側、内陸部と沿岸部などの視点から区分し、それぞれの気候区分の 	<ul style="list-style-type: none"> ・温帯と亜寒帯に属する日本の気候の特色を、四季の違いに着目して理解させる。(知技) ・地域により気候が異なる理由を、気候区分図や雨温図などを活用させ、

か。		特色を雨温図から考察できる。	地形や緯度、海流、季節風などから多面的・多角的に考察させる。(思判表)
4 日本さまざまな自然災害 日本で発生する自然災害は、地形や気候とどのような関係があるのだろうか。		<ul style="list-style-type: none"> 地震や火山による災害の特徴を理解し、日本では地震や火山の災害が多い理由を考察できる。 日本は台風や大雨、冷害、大雪などの気象災害が多いことを理解し、気象災害が多い理由を考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本は地震や火山による災害のほか、台風や大雨、冷害、大雪などの気象災害が多いことを調べさせ、まとめさせる。(知技) 日本で地震や火山による災害や気象災害が多い理由を、環太平洋造山帯との関わりや四季が明瞭な気候など、日本の自然環境の特色から多面的・多角的に考察させる。(思判表)
5 自然災害に対する備え 国や地域は、自然災害を防いだり、被害を少なくしたりするために、どのような工夫をしているのだろうか。		<ul style="list-style-type: none"> 自然災害の発生を防ぐことができないことに気づき、防災や減災の必要性について理解できる。 災害への対策について、国や地方公共団体が行う取り組みのほかに地域や個人で行う対策について考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害への備えは、施設や設備によるハード面の対策と、情報の共有や防災訓練などのソフト面での対策が必要なことを理解させる。(知技) 災害への対策は、自助、共助、公助の観点から、相互に補完し合って行われなければならないことを考察させる。(思判表) さまざまな自然災害から身を守るために、自分の地域で必要な対策や準備について、主体的に考察、追究するよう、支援する。(態度)
6 日本の人口 日本の人口分布や人口構成は、どのように変化してきたのだろうか。		<ul style="list-style-type: none"> 日本の人口分布の特色と、人口が集中する地域と少ない地域の課題を理解できる。 増え続けてきた日本の人口が減少に転じ、少子高齢化が進んでいる理由を考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の人口は三大都市圏に集中していることを理解させ、人口減少により、地域社会の維持が困難になっている地域が増えていることを理解させる。(知技) 子育てと仕事の両立が難しいことを背景に、出生率が低下する一方、食生活の改善や医療技術の進歩などにより高齢化が進んでいることを考察させる。(思判表)
7 日本の資源・エネルギーと電力 日本では、資源を有効に活用するために、どのような取り組みが行われているのだろうか。		<ul style="list-style-type: none"> 日本の資源やエネルギーの自給率が低いことを理解し、資源・エネルギーの安定確保のためにどのような取り組みが行われているか理解できる。 日本の発電量の内訳が変化してきた理由とその課題を考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本は資源やエネルギーの自給率が低いため、資源のリサイクルや消費電力の少ない家電製品の開発、電気自動車の普及など、省エネルギーの取り組みを行っていることを理解させる。(知技) 日本では、原子力発電の割合が減少

		し、火力発電に依存するようになった理由と、火力発電に依存することから生じる課題について考察させ、表現させる。(思判表)
8 日本の農業・林業・漁業とその変化 日本の農業・林業・漁業には、どのような特色や課題があるだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本では、狭い耕地を有効に利用し、地域によりさまざまな農業が行われていることを理解できる。 ・日本の農業・林業・漁業に共通する課題について考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本では稲作や畑作のほかに、地形や気候に合わせた果樹の栽培が行われているなど、地域によりさまざまな農業が行われていることを理解させる。(知技) ・輸入農産物の増加や後継者不足と高齢化など、日本の農業・林業・漁業に共通する課題について考察させ、表現させる。(思判表)
9 日本の工業とその変化 日本の工業にはどのような特色があり、工場の立地はどのように変化してきたのだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の工業地域は、臨海部から内陸部や大都市周辺に変化してきていることを理解できる。 ・企業の海外移転に伴う産業の空洞化や、安い工業製品の輸入の増加など、日本の工業の課題を考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の工業は、軽工業から重化学工業、先端技術産業へと発展してきたことを理解させる。(知技) ・日本の工業地域の分布と移り変わりを工業の変化と関連させて理解させる。(知技) ・日本の企業の海外移転による産業の空洞化や、アジア諸国からの安い工業製品の輸入の増加など、日本の工業の課題を考察させる。(思判表)
10 日本の商業・サービス業 日本の産業の中心である商業やサービス業には、どのような特色や変化がみられるのだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の経済の発展に伴い、産業別人口に占める第3次産業の割合が高くなっていることを理解できる。 ・パソコンやインターネットの普及により、日本の商業やサービス業がどのように変化しているか考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の経済発展や都市部への人口集中、生活スタイルの変化などに伴い、商業やサービス業など、第3次産業が発展してきたことを理解させる。(知技) ・商業ではコンビニエンスストアや通信販売などが、サービス業では情報や医療・福祉サービスを提供する業種などが拡大していることを考察させる。(思判表)
11 日本の交通網・通信網 交通網や通信網が発達したことで、日本と世界や国内の地域間の結び付きはどのように変化したのだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送手段や交通網の発達により、世界と日本の結び付きが深まり、人々の生活が変化していることを理解できる ・交通網や通信網の発達に伴う、利便性の向上と問題点について考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・航空路線の拡大に伴って出入国者が増加し、国内では道路網の整備によって、自動車の割合が増加してきたことを理解させる。(知技) ・交通網や通信網の発達によって結び付きが強まることによる、利点や問題点を考察させる。(思判表)

<p>1 2 さまざまな地域区分</p> <p>いくつかの視点を基に日本を区分すると、どのような特色がみえてくるのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本はさまざまな視点から地域区分することができることや、地域区分の目的と利点を理解できる。 ・主題図を基に自ら地域区分を行い、そこから読み取れる日本の特色を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・方言や食文化など、さまざまな視点から日本を区分することができることを理解させ、地域を区分することの目的や利点を理解させる。(知技) ・さまざまな主題図を基に自ら地域区分を行わせ、そこから読み取れる日本の特色を説明させる。(思判表)
<p>1 3 章の学習を振り返ろう</p> <p>■章の問い■ 日本の自然環境や人口、産業には、どのような特色があるのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地域的特色について学習した内容を、地図を用いて整理できる。 ・地域区分や分布などに着目し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、地域的特色をとらえる資質・能力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地域的特色を、自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信の視点から、写真、図版、地図、雨温図など、さまざまな資料を適切に選択して読み取らせ、理解させる。(知技) ・日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信などの地域的特色が、どのように変化し、どのような課題を抱えているのか、多面的・多角的に考察させ、表現させる。(思判表) ・自然災害への対応や人口減少に伴う少子高齢化など、身近な地域や生活との関わりに着目させて、日本の地域的な課題について、主体的に追究するよう、支援する。(態度)
<p>1 九州地方の自然環境</p> <p>九州地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の南に位置する広大な九州地方は、海に囲まれ、火山が多い特色があることを理解できる。 ・九州地方の気候の特色と、梅雨や台風などに伴う自然災害が起こる理由を考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火山が多く、リアス海岸やサンゴ礁も見られる九州地方の地形の特色を理解させる。(知技) ・九州地方の気候の特色を、ほかの地域の都市の雨温図と比較しながら考察させる。(思判表) ・九州地方で発生しやすい自然災害について、雨温図の読み取りから考察させる。(思判表)
<p>2 火山と共にある九州の人々の生活</p> <p>火山は人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・火山と共に暮らす人々の工夫や、噴火への備えについて理解できる。 ・火山がもたらす産業や、人々の生活との関わりについて考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・九州地方の火山と温泉の分布の特色を地図から読み取らせる。(知技) ・火山と共に暮らす人々の工夫や、噴火への備えの工夫について理解させる。(知技) ・火山が人々の生活や産業にもたらす影響について考察させ、表現させる。(思判表)

<p>3 自然を生かした九州地方の農業</p> <p>火山活動の影響を受けた土地や温暖な気候を生かして、九州地方ではどのような農業が行われているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シラスの分布と特性を理解し、シラスでの農業の特色を理解することができる。 ・二毛作や促成栽培が盛んな地域の共通点を、自然環境に着目し、関連付けて考察・表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・九州南部の農業の特色を、シラスの分布とその特質との関わりから理解させる。(知技) ・九州で盛んな二毛作や促成栽培について、九州の気候に着目させ理解させる。(知技) ・九州南部と北部で盛んな農業は、どのような自然環境が背景にあるのか、関連付けて説明させる。(思判表)
<p>4 都市や産業の発展と自然環境</p> <p>アジアの国々に近いということが、都市や地域の産業の発展にどのような影響を与えているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市が発展した背景を、大陸との距離や国内での位置に着目して理解できる。 ・北九州市の工業が発展した経緯と現在までの工業の発展について、アジアの国々との位置関係に着目して考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市と博多湾の位置を地図帳で確認させ、日本やアジアの都市との位置関係を理解させる。(知技) ・八幡製鉄所と旧筑豊炭田の位置を地図帳で確認させ、八幡製鉄所が北九州に造られた理由を考察させる。(思判表) ・福岡県で観光業や工業が発展した理由を、アジアの国々との位置関係から説明させる。(思判表)
<p>5 南西諸島の自然環境と人々の生活や産業</p> <p>南西諸島の自然環境は、人々の生活・文化や歴史、産業とどのように関わっているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・南西諸島で特色ある生活や産業がみられる背景を、自然環境の視点に着目し、考察できる。 ・沖縄独自の文化や沖縄が抱える課題について、位置や結び付きの視点に着目し、理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南西諸島の島々の自然環境の特色を写真から読み取らせる。(知技) ・沖縄らしさがみられる生活や産業を挙げさせ、自然環境との関わりから特色を説明させる。(思判表) ・沖縄が抱える課題について、位置や結び付き、経済の観点に着目させ、考察させる。(思判表)
<p>6 節の学習を振り返ろう</p> <p>■節の問い■ 九州地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・九州地方について学習した内容を、地図を用いて整理できる。 ・「節の問い」に答える活動を通して九州地方を大観・表現し、九州地方の特色をとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色を理解させ、九州地方の自然環境を生かした産業や、防災の取り組みについて、さまざまな情報を調べさせ、まとめさせる。(知技) ・九州地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、自然環境や、大陸・国内との結び付き、地域の課題などと有機的に関連付けて多面的・多角的に考察させ、表現させる。(思判表) ・九州地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と生活、産

		業との関わりについての課題を主体的に追究するよう、支援する。(態度)
<p>1 中国・四国地方の自然環境</p> <p>中国・四国地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中国・四国地方が三つの地域に分けられる理由について、自然環境の面から考察できる。 三つの地域の気候の特色について、中国・四国地方の地形の特色から考察し、理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 中国・四国地方の気候に影響を与える山地の位置と名称を理解させる。 (知技) 中国・四国地方の気候の特色を、雨温図で示された都市の位置から考察させ、山陰・瀬戸内・南四国に分けて説明させる。(思判表)
<p>2 交通網の整備と人々の生活の変化</p> <p>本州四国連絡橋や高速道路の開通は、人々の生活をどのように変化したのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本州と四国を結ぶ交通網の変化を理解できる。 本州と四国を結ぶ三つのルートの開通によって、地域に起きた変化について考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本州と四国を結ぶ本州四国連絡橋の三つのルートの位置と名称を理解させる。(知技) 本州四国連絡橋の開通による、島に暮らす人々の生活の変化を理解させる。(知技) 交通網の整備による、中国・四国地方と他地域との結び付きの変化について考察させ、表現させる。(思判表)
<p>3 瀬戸内海の水運と工業の発展</p> <p>瀬戸内海に面した地域では、船を使った輸送を利用して、どのように工業を発展させてきたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内の臨海部に工業が発達した経緯を、自然環境や原料・製品輸送の面から理解できる。 瀬戸内工業地域で、新しい工業製品の開発や生産が進められている理由を考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内で工業が発達した経緯を、地形の特色や原料・製品の輸送に着目させ、理解させる。(知技) 瀬戸内工業地域で新しい工業製品が生産されている理由を、企業の海外進出や外国との競争などから多面的に考察させ、説明させる。(思判表)
<p>4 交通網を生かして発展する農業</p> <p>瀬戸内や南四国で生産される農産物は、どのようにして競争力を高め、市場を広げてきたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内や南四国で盛んな農業の特色を理解できる。 瀬戸内や南四国では、農産物の市場をどのようにして拡大させてきたか考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内ではかんきつ類の栽培、南四国では野菜の促成栽培が盛んなことを理解させる。(知技) 南四国で促成栽培が盛んな理由を説明させる。(知技) 輸入品や産地間の競争に対応するため、品種改良を重ねたり輸送方法を工夫したりして市場の拡大を図ってきたことを考察させる。(思判表)
<p>5 人々を呼び寄せる地域の取り組み</p> <p>過疎化や高齢化が進むなか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進んでいる中国・四国地方の山間部や離島では、地域おこしの取り組みが行われていることを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 過疎化が進んでいる地域で行われている地域おこしの取り組みについて理解させる。(知技) 山陰では交通網の整備や地域の歴

<p>で、交通網が整備されたことにより、地域にどのような変化が生じたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 山陰では、観光業をどのように発展させているか説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化などを生かして、観光業を発展させていることを説明させる。(思判表)
<p>6 節の学習を振り返ろう</p> <p>■節の問い■ 中国・四国地方における交通網や通信網の整備は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中国・四国地方について学習した内容を、地図を用いて整理できる。 「節の問い」に答える活動を通して中国・四国地方を大観・表現し、中国・四国地方の特色をとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結び付きの変化と、それに関連する産業や生活の変化について理解させる。(知技) 中国・四国地方の結び付きの変化や産業の変容について、人や物の移動の量や方向、人々の工夫などと有機的に関連付けて、多面的・多角的に考察させ、表現させる。(思判表) 中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通・通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けた努力などについて、主体的に追究するよう、支援する。(態度)
<p>1 近畿地方の自然環境</p> <p>近畿地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 近畿地方は地形や気候の特色から、大きく三つの地域に分けられることを理解できる。 近畿地方では、中央部に平野や盆地が広がり、人口が集中していることを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 近畿地方の人口分布の特色を地形との関わりから理解させる。(知技) 近畿地方の気候が北部・南部・中央部で異なる理由を、近畿地方の地形の特色から考察させる。(思判表)
<p>2 琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏</p> <p>京阪神大都市圏の水源である琵琶湖とその周辺では、環境保全のために、どのような取り組みが行われてきたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 琵琶湖と淀川の水質保全が重要な理由を、人口や都市の視点と関連付けて考察できる。 琵琶湖の水を守る取り組みの歴史的な経緯を理解し、環境保全の大切さに気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 琵琶湖・淀川水系の給水区域内にある主な都市を理解させる。(知技) 琵琶湖の水質を保全するために、どのような取り組みが行われてきたのか説明させる。(知技) 琵琶湖と淀川の水質保全が重要な理由を、人口や都市の視点と関連付けて考察させる。(思判表)
<p>3 阪神工業地帯と環境問題への取り組み</p> <p>阪神工業地帯では、工業の発展と共に生じた環境問題に対して、どのように取り組んできたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 阪神工業地帯の臨海部の工業地帯の変容を、環境対策の視点などから理解できる。 中小企業の高い技術を受け継いでいくための取り組みや、地域住民と共存していくための取り組みについて理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 阪神工業地帯の特色について、臨海部の変化を中心に理解させる。(知技) 阪神工業地帯では、環境問題に対してどのような取り組みを行ってきたのか説明させる。(知技)
<p>4 古都京都・奈良と歴史</p>	<ul style="list-style-type: none"> 京都や奈良には、歴史的な景観や文化 	<ul style="list-style-type: none"> 京都や奈良には、歴史的な景観や多

<p>的景観の保全</p> <p>京都と奈良では、歴史的景観を保全していくために、どのような取り組みが行われているのだろうか。</p>	<p>財が多く残され、観光資源として生かされていることを理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都や奈良の人々が、歴史的な景観や文化財の保全に取り組んでいる理由を考察できる。 	<p>くの文化財が残されていることを理解させる。（知技）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都や奈良で、歴史的景観を保全する取り組みが行われている理由を考察させる。（思判表）
<p>5 環境に配慮した林業と漁業</p> <p>近畿地方で行われている林業・漁業では、観光を保全するために、どのような取り組みを行っているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿地方の林業や漁業では、環境保全のためにどのような取り組みを行っているか理解できる。 ・近畿地方の林業は、森林管理の技術を受け継ぐ若い後継者が少ないことが課題であることに気づき、どのようなことができるか考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紀伊山地の林業の特色を理解させ、資料から課題を読み取らせる。（知技） ・森林や水産資源を保全・保護するための取り組みについて説明させる。（知技） ・森林を保全したり、活用したりしていくために、どのようなことができるか考察させる。（思判表）
<p>6 節の学習を振り返ろう</p> <p>■節の問い■ 近畿地方における自然環境や歴史的景観の保全は、人口の増加や産業の発展のなかで、どのように取り組まれてきたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿地方について学習した内容を、地図を用いて整理できる。 ・「節の問い」に答える活動を通して近畿地方を大観・表現し、近畿地方の特色をとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や資料を活用させ、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全および、関連するほかの事象を読み取る技能を身に付けさせて、近畿地方の地域的特色を理解させる。（知技） ・自然環境や歴史的景観の保全に関わる取り組みを、人口の分布や住民の生活および産業の変化などに関連付けながら、原因と対策、効果の面から多面的・多角的に考察させ、表現させる。（思判表） ・近畿地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた人々の生活や産業の特色を、主体的に追究するよう、支援する。（態度）
<p>1 中部地方の自然環境</p> <p>日本の中央部に位置する中部地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中部地方の山脈や、そこから流れる河川がつくる地形の特色を理解できる ・中部地方は地形や気候の特色から、東海・中央高地・北陸の三つの地域に区分されることを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本アルプスの位置と主な河川の名称を確認させ、河川によって形成された地形の特色を理解させる。（知技） ・中部地方の気候の特色を、東海・中央高地・北陸に分けて説明させる。（知技） ・中央高地の降水量が東海や北陸よりも少ない理由を考察させる。（思判表）

<p>2 中京工業地帯の発展と名古屋大都市圏</p> <p>名古屋を中心とする地域では、どのようにして自動車などの輸送機械工業が盛んになったのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中京工業地帯の発展の経緯や、現在の特色について説明することができる。 ・名古屋大都市圏の広がりや、交通網による他地域とのつながりについて理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中京工業地帯で生産が盛んな工業製品を理解させる。(知技) ・名古屋大都市圏の形成について、中京工業地帯の位置と広がりや周辺地域とのつながりから理解させる。(知技) ・豊田市を中心とした地域で自動車工業が発展した理由を、産業の移り変わりや人々の工夫、周辺地域との結び付きに着目させ考察させる。(思判表)
<p>3 東海で発達するさまざまな産業</p> <p>東海の産業は、自然環境や交通網などの条件を生かして、どのように発達してきたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水が得にくい渥美半島で施設園芸農業が盛んになった理由を考察できる。 ・静岡県では豊富な水資源や森林資源を生かした工業や、その技術を基にして発展した工業が盛んであることを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東海で栽培が盛んな農作物を理解させ、施設園芸農業が発展した理由を理解させる。(知技) ・静岡県で楽器の生産や製紙業が発展した背景を、豊富な水資源や森林資源とその加工技術との関わりから説明させる。(思判表)
<p>4 内陸にある中央高地の産業の移り変わり</p> <p>内陸で山あいの環境にある中央高地では、時代の変化とともに、どのような産業が発展したのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中央高地の自然環境を生かした農業の変化と、交通網の発達を関連させて理解できる。 ・諏訪湖周辺の工業の変化について、自然環境や歴史的な経緯、交通網の発展と関連付けて説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳を活用させ、山梨県と長野県で生産が盛んな果物と野菜を調べさせる。(知技) ・中央高地の産業の変化を、自然環境や歴史的な経緯、交通網の発展などと関連付けて説明させる。(思判表)
<p>5 雪を生かした北陸の産業</p> <p>雪が多い北陸では、どのような産業が発達してきたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸では、雪どけ水を稲作や火力発電などに活用することで産業を発展させてきたことを理解できる。 ・地場産業が発展した理由を、自然環境の特色や技術の発展などと関連付けて説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸の農業と地場産業の特色を、自然環境との関わりに着目させ理解させる。(知技) ・北陸で地場産業が発達した理由を、地域の歴史的な背景や冬期間の副業と内職の技術、水力発電の電力などに着目させ説明させる。(思判表)
<p>6 節の学習を振り返ろう</p> <p>■節の問い■ 中部地方における産業の発展に、自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中部地方について学習した内容を、地図を用いて整理できる。 ・「節の問い」に答える活動を通して中部地方を大観・表現し、中部地方の特色をとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな資料を活用させ、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取らせるとともに、それぞれの自然環境の特色から異なる産業が発達したことを理解させる。(知技) ・中部地方の三つの地域において、それぞれ異なる産業が発達・変化した背景について、多面的・多角的に考察させ、表現させる。(思判表)

		<ul style="list-style-type: none"> 産業の視点からみた中部地方の特色について、自然環境の課題の克服に関する人々の工夫・努力に関心をもたせながら、主体的に追究するよう、支援する。（態度）
<p>1 関東地方の自然環境</p> <p>関東地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関東地方の自然環境の特色を、関東地方に人口が集中する要因の一つという視点から理解できる。 東京大都市圏への人口集中が、都市の気候にどのような影響を与えているか考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関東地方の自然環境の特色を理解させ、広い平野に多くの人口を抱えていることを統計資料などから読み取らせる。（知技） 人口が集中する背景の一つであるという視点から、関東地方の自然環境の特色を理解させる。（思判表） 関東地方への人口集中が都市の気候にどのような影響を与えているか考察させ、説明させる。（態度）
<p>2 多くの人々が集まる首都、東京</p> <p>首都であり、多くの人々が集まる東京には、どのような役割があるのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人口が集中する東京は、官庁や大使館、大学、企業、金融機関などの諸機関が立地するほか、全国交通網の起点になっていることなど、政治や経済の中心となっていることが理解できる。 千代田区や新宿区で昼夜間人口に違いが生じる理由について、さまざまな背景から考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京は、首都として官庁や大使館、大学、企業、金融機関などの諸機関が立地し、政治や経済の中心となっていることを理解させる。（知技） 東京は、全国各地と結びつく交通網の起点になっていることを理解させる。（知技） 東京は大使館や国際機関、外資系企業なども集中する世界都市としての役割があることを考察させ、表現させる。（思判表） 千代田区や新宿区で昼夜間人口に違いが生じる理由について、さまざまな背景から考察させる。（思判表）
<p>3 東京大都市圏の過密問題とその対策</p> <p>拡大する東京大都市圏では、どのような課題が生じてきたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人口の集中と都市圏の拡大によって過密問題が発生してきたことを理解し、過密問題に対して取られてきた対策を理解することができる。 1970年代以降につくられたニュータウンが現在抱えている問題と、人口が増加しているニュータウンの取り組みを多面的に考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人口の集中と都市圏の拡大によって過密問題が発生してきたことや、過密問題に対して取られてきた対策を理解させる。（知技） 多摩ニュータウンと港北ニュータウンを事例に、1970年代につくられたニュータウンが現在抱えている問題と、人口が増加しているニュータウンの取り組みを多面的に考察させる。（思判表）
<p>4 人口の集中と第3次産業の発達</p>	<ul style="list-style-type: none"> 商業は人口が集中する地域や交通の便がよい地域に発達することを、分布図 	<ul style="list-style-type: none"> 商業施設の立地や分布について、資料を活用しながら理解させる。（知技）

	<p>人口が集中する地域で発達する産業には、どのような特色があるのだろうか。</p>	<p>などを活用しながら理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京大都市圏で情報サービス業や広告業が盛んな背景を多面的・多角的に考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通網の発達に伴う小売業の変化とそれに伴う地域の課題について理解させる。(知技) ・東京大都市圏で情報サービス業や広告業が盛んな背景を多面的・多角的に考察させる。(思判表)
<p>5 臨海部から内陸部へ移りゆく工場</p> <p>京浜工業地帯や北関東工業地域の形成は、関東地方の人口の変化とどのように関係しているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工場の立地には、工業用地や原料の輸送、製品の輸送などの要因が関わっていることを、東京大都市圏に集中する出版業や石油化学工業を事例に理解できる。 ・郊外や内陸へ工場が移転してきた背景について、人口増加による都市圏の拡大と交通網の発達を関連付けて考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出版業と石油化学工業がそれぞれのような場所に立地するか理解させる。(知技) ・工業の立地条件について、人口や物流の面から考察させる。(思判表) ・郊外や内陸へ工場が移転してきた背景について、人口増加による都市圏の拡大と交通網の発達を関連付けて考察させる。(思判表) 	
<p>6 大都市周辺の農業と山間部の過疎問題</p> <p>東京大都市圏の周辺の農業地域や山間部は、人口の多い東京大都市圏と、どのように結び付いているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京大都市圏からみた周辺の農業地域や山間部の役割について理解できる。 ・関東地方の山間部の特色と課題を理解し、高齢化と過疎の解決策について、事例を通して考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京大都市圏の周辺で農業が盛んな理由と、生産されている主な農産物について理解させる。(知技) ・東京大都市圏からみた山間部の役割と山間部の課題について理解させる。(知技) ・高齢化と過疎の解決に向けて、上野村の取り組みを通して、移住者を増やしたり交流人口を増やしたりする方法を考察させる。(思判表) 	
<p>7 節の学習を振り返ろう</p> <p>■節の問い■ 関東地方における人口の集中は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方について学習した内容を、地図を用いて整理できる。 ・「節の問い」に答える活動を通して関東地方を大観・表現し、関東地方の特色をとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方の自然環境や産業の特色を、人口の集中との関わりに着目させ、地図や統計、分布図などから読み取らせるとともに、人口の集中と都市圏の拡大に伴う課題を理解させる。(知技) ・関東地方に人口が集中する理由を、第3次産業の発達のほか、他地域や海外との結び付き、自然環境の特色などに着目させ、多面的・多角的に考察させて、表現させる。(思判表) ・関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口の集中の視点からみた人々の生活や産業などの地域的特色を主体的に追究するよう、支援する。(態度) 	
<p>1 東北地方の自然環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や写真などから、東北地方の自然 	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方は南北に長く、大きな河川 	

	<p>南北に長い東北地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。</p>	<p>環境の特色を読み取り、理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地形の特色や緯度の関係から、東北地方の気候の特色を考察できる。 	<p>の流域には広い盆地や平野が形成されていることを理解させる。(知技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の南北と東西の気候の特色について、地形や緯度と関連付けて説明させる。(思判表)
	<p>2 伝統行事と生活・文化の変化</p> <p>東北地方の伝統的な祭りや人々の生活は、どのように変化してきたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の祭りや行事の特色を、自然環境などと関連付けて考察できる。 ・交通網の整備による、東北地方の祭りや生活の移り変わりを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の伝統的な祭りや行事は、農業に由来するものが多いことを理解させる。(知技) ・東北地方の伝統行事や人々の生活の変化を、交通網の整備の観点から説明させる。(思判表)
	<p>3 稲作と畑作に対する人々の工夫や努力</p> <p>東北地方の人々は、冷涼な気候の下で農業を発展させるために、どのような工夫や努力を行ってきたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の冷涼な気候に対応した、稲作と畑作の工夫について理解できる。 ・東北地方で銘柄米の開発が行われてきた理由を、減反政策との関わりから考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方で米の生産が盛んな理由を、東北地方の自然環境と栽培の工夫から理解させる。(知技) ・東北地方で銘柄米の開発が行われてきた理由を、日本の米の消費量の減少に伴う減反政策と産地間の競争から考察させる。(思判表)
	<p>4 果樹栽培と水産業における人々の工夫や努力</p> <p>東北地方で盛んに行われている果樹栽培や水産業には、どのような工夫や努力がみられるのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の果樹栽培や水産業の特色を理解できる。 ・東北地方で果樹栽培が盛んな理由を、自然環境と生産の工夫から考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方で栽培が盛んな果樹と、その主な生産地を理解させる。(知技) ・東北地方で果樹栽培が盛んな理由を、水はけがよい地形や昼夜の寒暖差が大きい気候、新しい品種の開発といった生産の工夫などから考えさせる。(思判表)
	<p>5 工業の発展と人々の生活の変化</p> <p>東北地方の工業は、交通網の整備や人々の生活の変化とともに、どのように発展してきたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通網の整備に伴ってみられる、東北地方の工業や人々の生活の変化を理解できる。 ・東北地方では、再生可能エネルギーの導入が盛んであることを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方で工業が盛んな都市の分布の特色を理解させる。(知技) ・東北地方の伝統的工芸品の特色と変化を理解させ、説明させる。(知技) ・東北地方では、再生可能エネルギーの導入が進められていることを理解させ、再生可能エネルギーの在り方について考察させる。(思判表)
	<p>6 節の学習を振り返ろう</p> <p>■節の問い■ 東北地方における人々の生活や文化に、自然環境や交通網の整備はどのような影響を与えているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方について学習した内容を、地図を用いて整理できる。 ・「節の問い」に答える活動を通して東北地方を大観・表現し、東北地方の特色をとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や写真などから、東北地方の自然環境や文化などの特色、産業の変化を読み取らせ、地域的特色や課題について理解させる。(知技) ・東北地方の人々の生活や文化、産業の発達と、自然環境や交通網の広がりとはどのように関わっているのか、多面

		<p>的・多角的に考察させる。(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や交通網の整備の視点から地域的特色を主体的に追究するよう、支援する。(態度)
<p>1 北海道地方の自然環境</p> <p>北海道では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の北端に位置し、広大な面積をもつ北海道では、独特な地形や景観がみられることを理解できる。 ・亜寒帯に属する寒冷な北海道の気候について、地域による違いが生じる理由を考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の山脈や山地、平野の名称を理解させる。(知技) ・北海道の気候の特色を地形や海流の特色を踏まえて理解させる。(知技) ・北海道地方と九州地方の地形や気候を比べて、共通点と相違点を説明させる。(思判表)
<p>2 雪と共にある北海道の人々の生活</p> <p>北海道の人々は、雪をどのように克服したり、利用したりしているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道で行われている、雪に備える工夫や雪を生かした取り組みについて理解できる。 ・雪が人々の生活にどのような影響を与えているか考察し、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の厳しい冬の寒さや雪に対する備えについて理解させる。(知技) ・雪を観光資源やエネルギー源として活用している取り組みを理解させる。(知技) ・雪が人々の生活にどのような影響を与えているか考察させ、説明させる。(思判表)
<p>3 厳しい自然環境を克服してきた稲作</p> <p>温暖な気候の下で行われる米作りが、寒冷な北海道で盛んに行われているのはなぜだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道で米の生産が盛んになった経緯を、開拓の歴史を踏まえて理解できる。 ・北海道で行われている土地改良や品種改良の取り組みの必要性について、自然環境との関わりから考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・石狩平野は、屯田兵などによる開拓や、泥炭地の土地改良によって日本有数の米どころになったことを理解させる。(知技) ・泥炭地が広がっていたことや、味のよい米を開発する背景には、北海道の冷涼な気候が関わっていることを考察させる。(思判表)
<p>4 自然の恵みを生かす畑作や酪農、漁業</p> <p>北海道で、畑作や酪農、漁業が盛んになったのはなぜだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道で生産が盛んな農産物と漁獲量の多い水産物を理解できる。 ・北海道で畑作や酪農、漁業が盛んになった理由について、自然環境との関わりから考察し、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の生産量が全国の上位を占める主な農産物と水産物を理解させる。(知技) ・北海道で畑作や酪農、漁業が盛んになった理由を、冷涼な気候や沖合の海流を踏まえて考察させ、説明させる。(思判表)
<p>5 北国の自然を生かした観光業</p> <p>北海道では、観光業をどのように発展させてきたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道では、豊かな自然や新鮮な食べ物を生かした観光業が盛んであることを理解できる。 ・北海道の観光業の持続可能な発展に向けて必要なことについて考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道には魅力的な観光地が多いことと、観光客が増えた理由について理解させる。(知技) ・北海道を訪れる外国人観光客が増加している理由を、北海道の自然環境の特色から考察させる。(思判表)

		<ul style="list-style-type: none"> ・環境を保全しながら観光業を発展させるために必要なことについて考察させる。(思判表)
<p>6 節の学習を振り返ろう</p> <p>■節の問い■ 北海道地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道地方について学習した内容を、地図を用いて整理できる。 ・「節の問い」に答える活動を通して北海道地方を大観・表現し、北海道地方の特色をとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道地方の冷涼な気候の特色を理解し、厳しい自然環境のなかで暮らす人々の生活の工夫や、自然環境を生かして発展させてきた産業の特色を理解させる。(知技) ・冷涼な自然環境の影響を受ける人々の生活や産業の特色を、他地域との結び付きや厳しい自然環境を克服するための工夫などと関連付けて多面的・多角的に考察させる。(思判表) ・北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、冷涼な自然環境を生かした人々の生活や産業の特色や工夫に関心をもち、主体的に追究するよう、支援する。(態度)
<p>1 課題を把握しよう</p> <p>地域が抱えている課題は何だろうか。その課題を発見し、追究するテーマを設定しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な地域の在り方を構想するために、地域の地理的な課題を把握し、その解決に向けた追究の問い(テーマ)を設定することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の在り方を考える際に追究する問いを、地理的な見方・考え方や注目する視点を生かしながら設定させる。(知技) ・地域の在り方について、課題を主体的に追究、解決するための見通しをもつよう、支援する。(態度)
<p>2 地域をとらえよう</p> <p>地域の実態を把握するためには、どのような手順を進めるとよいのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や統計などの諸資料を積極的に収集させたり、必要な情報をグラフや主題図にまとめさせたりするなど、収集した資料を適切に活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて計画を立てるとともに、地域の実態について諸資料からさまざまな情報を効果的に調べさせ、まとめる技能を身に付けさせる。(知技) ・よりよい社会の実現を視野に、地域の特色や課題などの実態を把握させ、主体的に資料を収集するよう、支援する。(態度)
<p>3 課題の要因を考察しよう</p> <p>地域が抱える課題の要因を考察するには、どのようなことに着目するとよいのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を分析したり、他地域の状況と比較したりすることを通して、地域の課題の要因を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題の要因を、他地域の状況などとも比較・関連付けながら理解させる。(知技) ・地域の課題の要因について、他地域の状況や地域内独自の要素に着目し、多面的・多角的に考察させる。(思判表)

<p>4 課題の解決に向けて構想しよう</p> <p>課題の解決に向けて構想するには、どのような点に気をつけるとよいのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題を解決するために必要な取り組みを考え、よりよい地域の在り方を主体的に考察・構想し、議論できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題を解決するために必要で、持続可能性のある取り組みは何か、他地域の事例と比較・関連付けたり、すでに行われている取り組みを参考に整理させたり、議論させたりして見出させる。(知技) ・地域の課題を解決するために必要な取り組みを多面的・多角的に考察させるとともに、よりよい地域の在り方を主体的に考察・構想させ、表現させる。(思判表) ・持続可能な社会を目指す一員であるという自覚をもたせ、持続可能な地域の在り方を主体的に追究・解決するよう、支援する。(態度)
<p>5 課題の成果を発信しよう</p> <p>構想した成果を分かりやすく伝えるためには、どのようにするとよいのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・構想の成果を分かりやすく説得力ある伝え方でまとめ、発表会や提言などの形で発信することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかの生徒の発表などを通して、地域の実態におけるさまざまな側面や、それに対する課題解決のための取り組みを理解させる。(知技) ・ほかの生徒の発表から、よりよい発信の方法を読み取らせるとともに、プレゼンテーションソフトを活用した発表の仕方などについても理解させる。(知技) ・「地域の在り方」の学習について、粘り強く考察・構想し、学習の見通しを基に、自ら工夫・調整しながら主体的に学習に取り組むことができたかを振り返るよう、支援する。(態度)